学校番号	218

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　新編　化学基礎」　（数研出版）						
副教材等	教員作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎を通じて、自然現象や物質の成り立ち等の根底にある原理・仕組み・規則性を学んでもらいます。そのためにも、普段当たり前に感じていることについて「どうしてこうなっているのだろう」と視野を広げてみましょう。問題演習や実験等を含め、授業で学んだ内容を日常生活の様々な場面でどのように活用していくかを想像しながら、授業に臨みましょう。また化学基礎では基礎的な計算力も必要となります。あらかじめ、予習等の準備をしておきましょう。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連をはかりながら、物質とその変化への関心を高め、観察・実験を通して科学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解させ、化学的な見方や考え方を養う。それにより、物質に関する基本的な概念や原理・法則を理解させ、化学的に探求する方法を身につけさせるとともに、現代の生活を支える化学の役割や物質と人間生活とのかかわりについて考えさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身の周りの物質に興味・関心を持ち、科学的に物事を考える力を身につける。	実験の結果から考察を行い、自分の言葉で表現する。また、具体的な事象を化学的にとらえ、自分の言葉で説明できる。	実験器具を正しく使用し、実験操作を適切に行う。目的をもって実験を行い、結果を的確に記録し、科学的に考察する力を身につける。	基本的な化学反応や概念・法則を理解し、知識を身につける。
評価方法	授業プリントの提出	定期考査 授業プリントの提出	実験への取り組み 授業プリントの提出	定期考査 授業プリントの提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	化学と人間生活	身の周りの物質 化学実験の基本操作	○ 	 ○	 ○	○ 	a:身の周りの物質に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実験の結果を適切に理解し、まとめることができる。 c:実験操作を理解し、協力して取り組むことができる。 d:物質の種類、性質の違いを理解している。	・授業プリントの提出 ・実験の取り組み ・定期考査
	物質の構成と化学結合	物質の構成 物質とその成分 物質の分離と精製 物質の三態と熱運動	○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○	a:物質の構成に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実験の結果を適切に理解し、まとめることができる。 c:実験操作を理解し、協力して取り組むことができる。 d:物質の構成、元素の種類について理解している。	
二学期	物質の構成粒子	原子とその構造 イオン 元素の周期表	○ ○ ○	 ○		○ ○ ○	a:物質を構成している粒子について興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:元素の周期表と電子配置との関連性をまとめることができる。 d:粒子、イオンについて理解している。	・授業プリントの提出 ・実験の取り組み ・定期考査
	粒子の結合	イオン結合 共有結合 金属結合 結合の種類と化学的性質	○ ○ ○ 	 ○	 ○	○ ○ ○ 	a:結合について興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実験の結果を適切に理解し、まとめることができる。 c:実験操作を理解し、協力して取り組むことができる。 d:結合の種類と違いについて理解している。	
	物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質量	○ ○			○ ○	a:化学反応式と量的関係について興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実験の結果を適切に理解し、まとめることができる。	

三学期	物質量と化学反応式	化学反応と量的関係		○	○		c:実験操作を理解し、協力して取り組むことができる。 d:化学反応と量的関係について理解している。	・授業プリントの提出 ・実験の取り組み ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。